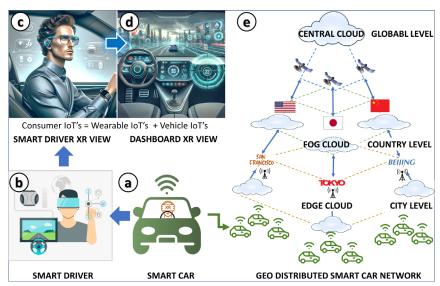
クロスチェインで結合されたメタバース空間 のおける個人化された連合マルチタスク学習

アキラ・シリウィーラ

動機

スマート社会では

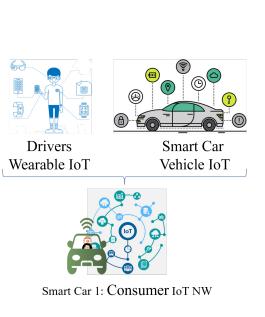
- 情報の完全性(セキュリティとプライバシ)を考慮したユーザサービスネットワークが必要不可欠である
- 例:スマート自動車のサービスネットワーク

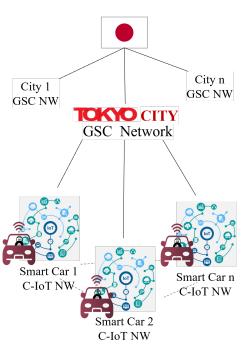


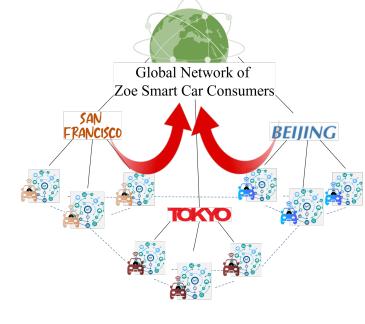
- さらに敏捷性(スケール性と相互運用性)も考慮する必要がある
- ・ Internet of Crosschain (IoC) は完全性と敏捷性を両立する手法の一つ

提案手法

- EICE, Edge-intelligent Consumer Ecosystem; エッジ側知的ユーザエコシステム(ネットワーク)
- FMTLP, Federated Multi-Task personalized Learning Platform; 連合マルチタスク学習プラットフォーム







(a) A Zoe smart car consumer network

(b) Tokyo city-based network of Zoe smart car's

(c) Global Zoe network across different countries

評価

- エッジに新規にブロックを追加する ときのコスト:提案手法(クロスチェ イン)対従来法(従来型ブロック チェイン)
- エッジモジュールを用意するコスト: 提案手法(クロスチェイン)対従来 法(従来型ブロックチェイン)
- 3つの都市における個人化による誤差

